SONY

4-562-885-**02**(1)

FM/AMシャワーラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2014 Sony Corporation Printed in China

ICF-S80

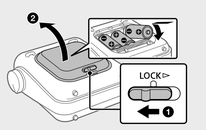
準備する

本機の防水性能を保つために、電池ぶたが完全に閉まり、ロックされていることを確認してください。
詳しくは**「防水について（ご使用前に必ずお読みください）」**をご覧ください。

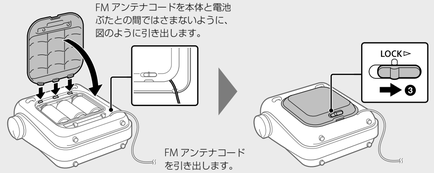
1 乾電池を入れる。

開閉スイッチを矢印の方向に移動させてロック状態を解除し（❶）、電池ぶたを取りはずします（❷）。

付属の単２型乾電池３本を入れます。必ず⊖側から入れてください。

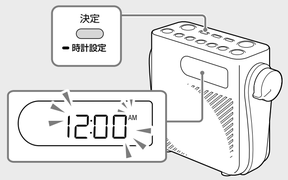


電池ぶたを取り付けるときは、ふたをしっかり押さえ、開閉スイッチを矢印の方向に移動させてロック状態にします（❸）。



2 時計を合わせる。

乾電池を入れると、「12:00 AM」が点滅します。時計設定ボタンを「時」が点滅するまで押してください。



ちょっと一言

本機の電源が入っていない状態で＋とお気に入りボタン❶を「ピーッ」と音がするまで同時に押すと、時計表示を 24 時間表示形式と 12 時間表示形式で切り換えることができます。

「時」の合わせかた

「分」の合わせかた

ご注意

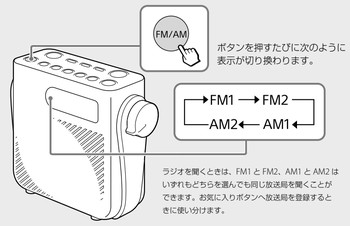
- 何も操作しない時間が約 65 秒を経過すると、時刻合わせは中止されます。
- 時計を合わせたあとに乾電池を取り出したままにすると、約 60 秒後に初期状態にリセットされます。その場合は、時計を設定し直してください。

ラジオを聞く

1 電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。

電源が入ると、表示窓に「ラジオ」が点灯します。

2 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。



3 聞きたい放送局の周波数に合わせる。

FM 放送受信時の表示例

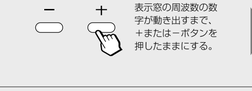
FM1 で放送を受信しているときは「FM1」、FM2 のときは「FM2」が点灯します（AM 放送のときは「AM1」または「AM2」が点灯）。

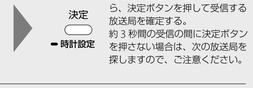
ちょっと一言

時計が表示されている場合は、＋または－ボタンを一回押してください。受信している周波数が数秒間表示されます。

自動選局

本機が周波数を変えて、自動的に受信可能な放送局を探します。受信可能な放送局が見つかると、放送を約 3 秒間受信して、次の受信可能な放送局の周波数を探します。





手動選局

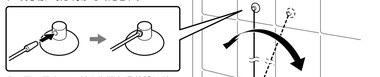
聞きたい放送局の周波数があらかじめわかっているときなど、特定の放送局の周波数に手動で合わせることができます。

うまく受信できないときは

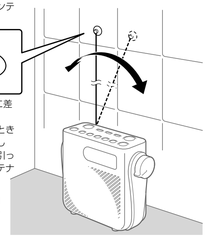
ラジオ放送がうまく受信できないときは、下図のとおり、アンテナの角度を調節したり（FM放送）、ラジオの向きを調整してください（AM放送）。
それでも受信状態が改善しないときは、扉や窓などの開口部付近にラジオを移動するなど、設置場所を変えてみてください。

FM

付属の吸着盤を下図のように FM アンテナの先端に取り付けてください。



FM アンテナコードの先端を吸着盤に差し込む。
アンテナコードを吸着盤からはずすときは、アンテナの先端をつまんではずしてください。アンテナコードを直接引っ張らないようにしてください。アンテナコードが切れるおそれがあります。



最も良く受信できる方向に FM アンテナコードを伸ばしてください。

AM

AM 専用アンテナが本機内部に入っていますので、受信状態が最もよくなるようにラジオの向きを変えてください。

よく聞く放送局をお気に入りボタンに登録する

お気に入りの放送局を本機のお気に入りボタン（1 ～ 5）に登録することができます。FMとAMのそれぞれで各10局登録することができます。

1 登録したい放送局を受信する。

放送局の受信のしかたは、「ラジオを聞く」をご覧ください。

ちょっと一言

時計が表示されている場合は、＋または－ボタンを一回押してください。受信している周波数が数秒間表示されます。

2 登録したい番号のお気に入りボタンを「ピーッ」と音がするまで押したままにする。

例：1 番のお気に入りボタンに登録する場合

ちょっと一言

FM1 と FM2 で計 10 局（各 5 局）、AM1 と AM2 から計 10 局（各 5 局）を登録することができます。あらかじめ現在どの設定で放送局を受信しているか確認してから登録してください。

登録済みのボタンに別の放送局を登録するには

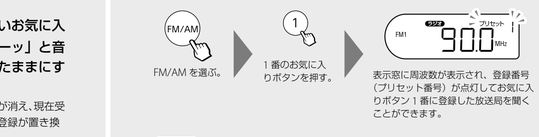
1. **新たに登録したい放送局を受信する。**
2. **登録を変更したいお気に入りボタンを「ピーッ」と音がするまで押したままにする。**

前に登録した放送局が消え、現在受信している放送局に登録が置き換わります。

登録した放送局を聞く

1 FM/AM ボタンを押してバンド（FM1/FM2/AM1/AM2）を選び、聞きたい放送局が登録されたお気に入りボタンを押す。

例：1 番のお気に入りボタンに登録した放送局を聞く場合



お気に入りボタンに放送局が登録されていないときは、ボタンを押したときに以下の表示となり、直前に合わせていた周波数に戻ります。

ご注意

お気に入りボタンは押したままにしないでください。約 2 秒以上押すと、登録済みの放送局が現在受信中の放送局に置き換わってしまいます。

保証書

保証書		持込修理
品名	FM/AM シャワーラジオ	
型名	ICF-S80	
お買上げ日	平成・西暦　年　月　日	

本書は、本書記載内容（下記記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様様にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店	

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル：**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599
ホームページ：http://www.sony.jp/support/
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から　1 年
お客様住所 お名前	電話　-　- 様

無料修理規定

1. **正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の架電で故障および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2) お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。**

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。
※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. **お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。**
3. **保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。**
(1)本書のご提示がない場合 (2)本書にお買上げ日およびソニー一特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合 (3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合 (4)使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷 (5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷 (6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷 (7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障・損傷 (8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷 (9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. **故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのであらかじめご承くださ い。**
5. **修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。**
6. **本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。**
7. **故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。**
8. **記録媒体を伴着または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。**
9. **本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)**

修理メモ	

※本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 TO2-4

保証書とアフターサービス

保証書

保証書（上記）への所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口（右記）またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは上記保証書の修理規定をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **050-3754-9577**

修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ **050-3754-9599**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

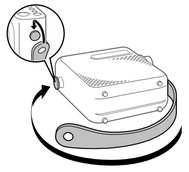
FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に**「304」+「#」**を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

ストラップベルトの取り付けかた

本機は、お買い上げ時はストラップベルトの片側がはずれた状態になっています。下図の手順でストラップベルトを装着してください。ストラップベルトは片側のみはずれる状態になっています。はずしたいときは、逆の手順ではずしてください。

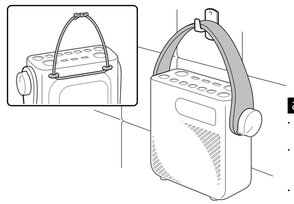


ご注意

ストラップベルトの穴を装着部にしっかりとはめ込んでください。しっかりとはめ込んでいないと、つり下げたときにストラップベルトがはずれ、本機が落下するおそれがあります。

本機をつり下げてお使いになりたいときは

図のようにストラップベルト、または市販のひもをストラップ通し用穴に通してつり下げてお使いください。

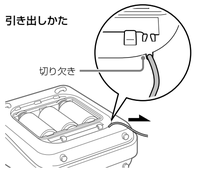


ご注意

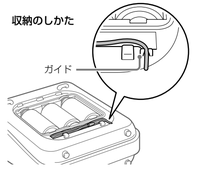
- 落下しやすい不安定な場所にはつり下げないでください。
- ひもをお使いの場合は、しっかりとしたひもを選び、ひもが切れたりほどけてラジオが落下しないようしっかり結んでください。
- ストラップベルトやひもに過度の力が加わると、ベルトやひもが切れて落下する危険性があります。つり下げてお使いのときは過度な力が加わらないようにしてください。

FM アンテナコードの引き出しかたと収納のしかた

引き出しかた



収納のしかた



ご注意

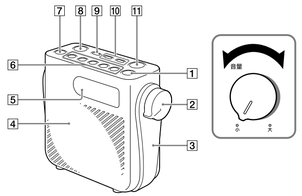
- 不適切な位置から FM アンテナコードを引き出して電池ぶたを閉じると、電池ぶたと本体の間にコードがはさまり防水性能が保持できません。必ず切り欠きに沿わせてコードを引き出してください。
- 収納するときは、ガイドの間にアンテナコードを押し込み、収納部に収納します。収納部からアンテナコードがはみ出さないように、しっかり奥まで収納してください。

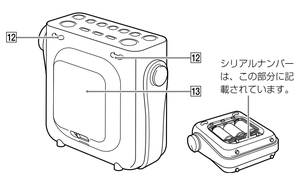
乾電池の交換について

- 電池交換時に水が入ってしまった場合は、電池を取り出し、電池収納部と電池ぶたの水分をよく拭き取って乾燥させてください。特に電池端子部分に水分が残らないようにご注意ください。
- 漏れた手で絶対に電池を交換しないでください。感電するおそれがあります。
- 乾電池が消耗して音が小さくなったり、歪んだりするようになると、表示窓に「」が点滅します。
電池を使い切ると「」の点滅が点灯に変わり、ラジオが電源オフの状態になります。「」が点滅を始めたら、電池をすべて新しいものと交換してください。
- 乾電池は、電源を切り、乾電池を抜いてから 60 秒以内に交換してください。電源が入ったまま交換したり、乾電池を抜いてから交換に 60 秒以上かかると、現在時刻や お気に入りボタンに記憶させた放送局、タイマー設定などが消えてしまいます。もしも設定が消えてしまったときは、もう一度設定し直してください。なお、「」の表示は、電池交換後に電源を入れると消えます（電源を入れるまでは交換後も消えません）。
- 新しい電池と使用済みの電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 長い間本機を使わないときは、乾電池は取り出してください。再びお使いになるときは、現在時刻やお気に入りボタンに記憶させた放送局、タイマー設定などは設定し直してください。

各部のなまえ

本体



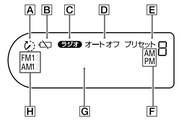


シリアルナンバーは、この部分に記載されています。

1 電源ボタン
2 音量つまみ
3 ストラップベルト
4 スピーカー
5 表示窓（液晶画面）
6 お気に入りボタン*（ラジオ局/タイマー）
7 FM/AMボタン（FM/AM切り換えボタン）
8 タイマー設定/入/切ボタン（カウントダウンタイマー/キッチンタイマー用ボタン）
9 決定ボタン（押したままにした場合は、時計設定となります。）
10 ＋、－ボタン
11 オートオフボタン
12 ストラップ通し用穴
13 電池ぶた

* お気に入りボタンの３番のボタンには、凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓



A カウントダウンタイマー（キッチンタイマー）の設定中に点滅します。タイマー作動中は点灯の状態となります。
B 乾電池が消耗したときに点滅／点灯します。点滅したときは、電池をすべて新しいものに交換してください。
C ラジオを受信しているときに点灯します。
D オートオフタイマーの設定中に点滅します。タイマー作動中は点灯の状態となります。
E お気に入りボタンへ放送局またはカウントダウンタイマーの設定を登録したとき、またはお気に入りボタンで登録した放送局またはカウントダウンタイマーの設定を呼び出したときに点灯します。
F 12時間表示形式に設定しているときに、「AM」（午前）または「PM」（午後）が点灯します。24時間表示形式に設定しているときは点灯しません。
G 周波数／時刻／メッセージ表示エリア
H 現在選択しているラジオのバンド（FM1、FM2、AM1、AM2）が点灯します。

ちょっと一言

音量を最小に設定しているときなどは、表示窓の「ラジオ」が点灯しているかどうかを確認することで、本機が現在ラジオを受信中かどうかを知ることができます。

便利な機能を使う

オートオフタイマー

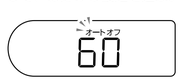
設定した時間（分）が経過すると、自動的にラジオの電源が切れるように設定することができます。オートオフタイマーを使うことで、電源の切り忘れを防止することができます。

1 オートオフボタンを押す。

初期設定値の60分が表示され、「オートオフ」が点滅します。

ラジオの電源が入っていないときにオートオフボタンを押すと、自動的にラジオの電源が入ります。

2 「オートオフ」が点滅している間にオートオフボタンを繰り返し押して、お好みの設定を選ぶ。



ボタンを押すたびに設定（分）が次のとおり切り換わります。

60 → 45 → 30 → 20 → 10 → OFF → 60

3 決定ボタンを押す。

「ピーッ」と音がして選択した設定が確定し「オートオフ」の点滅が止まります。約3秒以内に決定ボタンを押さない場合、「ピーッ」と音がして表示窓に表示されている設定が自動的に選択されます。

ちょっと一言

オートオフタイマーの設定後に再度オートオフボタンを押すと、ラジオの電源が切れるまでの残り時間を確認することができます。

オートオフタイマーを解除するには

手順2でオートオフタイマーを繰り返し押して「OFF」を選ぶか、電源ボタンを押して電源をいったん切り、もう一度電源を入れることで解除することができます。オートオフタイマーを解除すると、表示窓の「オートオフ」の表示が消えます。

オートオフタイマー作動中に、タイマー時間を再設定したいときは

手順１から３にしたがって設定をやり直し、お好みの設定を選んでください。

カウントダウンタイマー（キッチンタイマー）

あらかじめ時間（分）を設定しておき、設定した時間が経過したときにブザーを鳴らすことができます。1分刻みで最大90分までタイマーを設定できます。

1 タイマー設定／入／切ボタンを押す。

と「1」*（初期設定）が点滅します。

* はじめて設定したときは「1」が点滅しますが、次回以降は前回の設定時間（分）が点滅します。

2 と「1」が点滅している間に＋または－ボタンを押して、1分から90分までの間でタイマー時間を設定する。

3 タイマー設定／入／切ボタンまたは決定ボタンを押す。

と設定したタイマー時間の点滅が止まり、「ピーッ」と音がしてタイマーがスタートします。

設定した時間が経過すると、と「0:00」の点滅とともにブザー音が鳴ります。ブザー音は、止めない限り約60分間鳴り続けます。

ブザーを止めるには

どのボタンを押してもブザーを止めることができます。いずれかのボタンを押してブザーを止めてください。

タイマーを解除するには

タイマー設定／入／切ボタンを押して解除します。解除すると、表示窓のが消え、現在時刻の表示になります。

よく使うタイマー設定時間をお気に入りボタンに登録する

よく使うタイマー設定を本機の5つのお気に入りボタンに登録することができます。

1 タイマー設定／入／切ボタンを押し、＋または－ボタンを押してタイマー時間を設定する。

2 登録したい番号のお気に入りボタンを「ピーッ」と音がするまで押したままにする。

登録したタイマー設定を使うには

1 タイマー設定／入／切ボタンを押す。

2 と前回のタイマー時間が点滅している間に、使いたいタイマー設定が登録されたお気に入りボタンを押す。

3 タイマー設定／入／切ボタンまたは決定ボタンを押す。

「ピーッ」と音がしてタイマーがスタートします。

ご注意

- お買い上げ時には、お気に入りボタンに初期設定として、3分（ボタン1）、10分（ボタン2）、20分（ボタン3）、40分（ボタン4）、60分（ボタン5）が登録されています。
  お好みのタイマー設定を登録すると、初期設定は上書きされて新しい設定に置き換わります。
- 本機から乾電池を取り出したままにすると、お気に入りボタンに登録した設定は約60秒後に初期設定の状態にリセットされます。その場合は、登録し直してください。
- 本機の電源が切れた場合でも（オートオフタイマーによる電源オフや電源ボタンでの電源オフ）、タイマーは設定した時間まで進行します。

ちょっと一言

タイマー進行中に現在聞いている放送局の周波数を知りたいときは、＋または－ボタンを押してください。受信中の放送局の周波数が数秒間表示されます。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本機は単２形乾電池でお使いください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（40 ℃以上）や低いところ（0 ℃以下）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - ほこりの多いところ。
  - 本箱や組み立て式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところ。
- 本機の内部に液体や異物を入れないでください。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジン、アルコールは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

機銘板について

- 機銘板は本機の底面にあります。

乾電池の液漏れについて

- 万一、乾電池の液漏れが起きたときは素手で液を触らないでください。
- 液漏れが起きたときは、本体内部に液が残留するおそれがあるため、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師にご相談ください。

防水について（ご使用前に必ずお読みください）

本機の防水性能について

本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）」の“水の浸入に対する保護等級”である IPX4[*1] 相当の防滴仕様[*2]です。使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

*1 IPX4 相当とは、あらゆる方向からの飛沫に対して本体機能を保護するものです。

*2 電池ぶたが完全に閉まり、ロックされている状態であること。

防水の対象となる液体*

対象	真水、水道水
非対象	上記以外の液体（例：洗剤や入浴剤の入った水、温泉水、高温のお湯、プールの水、海水など）

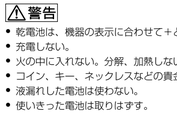
* 海、プール、温泉、サウナでの使用はおやめください。塩水、塩素水、硫黄、高温により本機が故障する可能性があります。

防水性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。
お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

防水性能を保つために

下記の点を必ずご確認のうえ、正しく本機をお使いください。

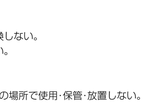
- 電池ぶたは、防水性能を保持するために大変重要な役割を果たしています。ご使用の際は、しっかりとロックし、電池ぶたが完全に閉まっていることを確認してください。電池ボックス内のゴムパッキンと、ゴムパッキンがあたる場所（電池ぶた裏側）との間にゴミ、毛髪などがはさまると、防水性能を保持できず電池ボックス内部に水が入り込み、故障の原因になります。ゴミなどが付着している場合は、繊維の残らない柔らかい布などで拭き取ってください。
- FM アンテナコードを引き出して電池ぶたを閉じる際は、電池ぶたと本体との間にコードをはさまないようご注意ください。
- 電池ボックス内のゴムパッキンの表面に傷や打痕、破損などが発生すると、防水性能が保持できなくなります。また、電池ボックス内に使用しているゴムパッキンは、長期間の使用や環境によってひび割れや変形が発生するおそれがあります。防水性能を保持するために、一年に一度は、お買い上げ店またはソニー修理相談窓口にご相談いただき、ゴムパッキンを交換することをおすすめします（有料）。



- 本機は耐水圧設計ではありません。高い水圧がかかるため、本機を水中に沈めたり、水道の蛇口からの勢いのある水を直接かけるなどしないでください。また、シャワーヘッドと本機との距離を極端に近づけるなどして（約 30cm 以下）、勢いのある水を本機に向けて直接かけたりしないでください。このほか、水圧が通常より高いマッサージ用途などに用いられるジェットシャワー機能付きシャワーなどの場合は、内部に浸水するおそれがあるため、本機に直接水がかからないようご注意ください。
- 本機を温度が非常に高いところ（約 40℃以上）や低いところ（約 0℃以下）で使用したり、放置したりしないでください。変形などにより防水性能が保持できなくなります。0℃以下では、本機に付着した水滴が凍結し、故障するおそれがあります。
- 高温のお湯を直接かけたり、付着した水滴を乾燥させるなどのためにドライヤーなどの機器からの熱風を直接あてないでください。また、サウナやコンロの近くなど高温になる場所での使用は絶対にしないでください。
- 本機を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、防水性能が劣化する原因となることがあります。

本機のお手入れのしかた

- 本機を濡れたまま放置しておくと、水アカやカビなどにより製品が汚れる可能性があります。使用後は本機を拭き取り、風通しの良い場所で水分がなくなるまで乾燥させることをおすすめします。
- 寒冷地では、使用後に本機に付着した水滴を乾いた柔らかい布などで必ず拭き取ってください。水滴が付着したまま放置すると、水滴が凍結し故障の原因となります。
- 本体前面のスピーカー部の穴に水が入ると音質が変化することがありますが、本機の故障ではありません。乾いた布やタオルなどの上にスピーカーがある面を下にして本機を置いて、スピーカー内部にたまった水を出し、そのままの状態で常温で放置して乾燥させてください。



故障かな？と思ったら

修理をご依頼いただく前に、次のことをお調べください。

表示窓の文字や記号が薄くて見にくい

- 極端に暑い場所や寒い場所、湿度の高い場所で使っている。

音が途切れる、受信状態が悪い

- 電池が消耗しているときは、すべて新しいものと交換してください。
- 受信状況が良くなるように、扉、窓など、開口部の近くに置くなどしてください。

雑音が入る

- 近くに携帯電話などの電波を発する機器を置いていると、雑音が入ることがあります。携帯電話などの機器を本機から離してください。

電池の消耗が早い

- 本機をお使いにならないときは、電源を切ってください。電池の持続時間については、「主な仕様」の「電池持続時間」をご覧ください。
- 表示窓に「」が点滅したら、電池をすべて新しいものと交換してください。
- 電池には使用期限があります。使用期限が切れた電池を使用すると、極端に電池寿命が短くなる場合があります。お使いの乾電池が使用期限内であることをご確認ください。

電池交換後も表示窓の「」が消えない

- いったん本機の電源を切り、電源を入れ直してください。
- 新しい乾電池と交換したか確認してください。

お気に入りボタンを押しても聞きたい放送局が受信できない

- お気に入りボタンを押したままにすると、現在受信中の放送局を記憶するため、誤操作により登録が別の放送局と置き換わっている可能性があります。もう一度、お気に入りボタンに放送局を記憶させてください。

主な仕様

時計表示
12 時間表示 /24 時間表示（切り換え可能）

受信周波数
FM: 76 MHz ～ 108 MHz
AM: 531 kHz ～ 1,710 kHz

スピーカー
直径約 7.7 cm、丸型 8 Ω（モノラル）

実用最大出力
500 mW (JEITA*1)

電源
DC 4.5 V、単 2 形乾電池 3 本

電池持続時間 *2（JEITA*1）
約 100 時間（FM 放送受信時）
約 100 時間（AM 放送受信時）

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*1）
約 145 mm × 128.4 mm × 62.1 mm

質量
約 375 g（乾電池除く）
約 575 g（乾電池含む）

付属品
お試し用単 2 形乾電池（3）、吸着盤（1）、取扱説明書・保証書（1）

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

*2 ソニー単 2 形アルカリ乾電池（LR14SG）を使用した場合の時間です。実際の電池持続時間は、本機の状況により変動する可能性があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身傷害になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

定期的に電池ボックス内のゴムパッキンに傷みがないか、ゴムパッキンに毛髪やゴミが付着していないか点検してください。詳しくは、「防水性能を保つために」をご覧ください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

水中に沈めたり、水中で使用しない

本機の防水性能は、IPX4相当の防滴仕様で、耐水圧設計ではありません。水中に沈めたり、水中で使用しないでください。感電や火災の原因となります。

禁止

内部に水や異物を入れない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、乾電池を抜いて、お買い上げ店またはソニー相談窓口に点検や修理をご依頼ください。

禁止

バスタブのふちなど、本機が落ちて水没する可能性のある場所に置かない

水没して本機内部に水が入ると、感電や火災の原因となります。

禁止

ほこりや油煙の多い場所や直接日光のあたる場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

乳幼児の手の届く場所に置かない

FMアンテナコードが首に巻きつくと、窒息するおそれがあります。絶対に乳幼児の手の届く場所には本機を置かないでください。また、つり下げて本機をお使いのときは、つり下げる場所にご注意ください。乳幼児の手の届く場所につり下げると、本機にぶらさがるなどして誤って本機を落とし、けがの原因となるおそれがあります。

禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

禁止

雷が鳴り出したら、FMアンテナのコードに触れない

感電の原因となります。遠くで雷が鳴り出したときは、落雷を避けるためすぐに本機の使用を中止し、FMアンテナのコードには触れないでください。

接触禁止

濡れた手で電池を交換しない、電池ぶたを開けない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

石鹸、シャンプーなどが付着した手で本機をさわらない

石鹸、シャンプーなどに触れた手で本機を移動したり吊り下げたりすると、手をすべらせて落として破損させたり、けがの原因となることがあります。

禁止

FMアンテナのコードを引っ張らない

FMアンテナコードを持って本機を持ち運ばないでください。また、つり下げて本機をお使いのときは、FMアンテナコードにぶら下がったり、引っ張ったりしないでください。FMアンテナコードに過度の力が加わると、コードが切れて本機が落下し、けがをするおそれがあります。

禁止

FMアンテナのコードは低い場所に取り付けない

FMアンテナのコードに足がひっかかって転倒してけがをしたり、本機が落下して故障の原因となることがあります。

禁止

ストラップベルトを持って本機を振り回さない

ストラップベルトがはずれて本機が落下し、けがをするおそれがあります。

禁止

製品の上に乗らない、重いものをのせない

製品が壊れてけがをするおそれがあります。

禁止

電池ぶたを開けてお手入れの際、乾電池を抜く

乾電池を入れたままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

本機をぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。

禁止

つり下げてお使いのときは、取り付け状態を確認する

本機をつり下げてお使いのときは、ストラップベルトの穴を本機側面の装着部にしっかりはめ込んでください。しっかりとはめ込んでいないと、ストラップベルトがはずれて本機が落下し、けがをするおそれがあります。ひもを使ってつり下げる場合は、ひもの強度を確認し、しっかりと結ばれていることを確認してください。

指示

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

本製品では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
単2形乾電池

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 乾電池は、機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。
- 長期間使用しないときは電池を取りはずす。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところでは交換しない。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 自治体によっては電池の廃棄方法を規制しています。廃棄の際は、お住いの地方自治体の条例または規則に従ってください。